

令和4年9月7日 開会

令和4年 第3回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	石森 晃寿	1 新型コロナウイルス感染症対策について	1
		2 本市が抱えている政策課題について	2
		3 防火水槽の設置について	3
第2位	五野井 敏夫	1 新設予定の道の駅について	4
		2 市道及び公園の維持管理、ゴミの不法投棄の監視巡回はいかに	5
		3 学校体育・運動部活動を地域移行への対処はいかに	6
第3位	齋藤 徹	1 市内スポーツ振興のための環境整備・人材育成について	7
第4位	井出 方明	1 子どもたちの体力・学力向上施策について問う	8
		2 公共料金の値上げに関する考え方について問う	9
第5位	千葉 修一	1 道の駅構想の進捗状況について	10
		2 住宅地及び市街化区域の拡大を問う	11
第6位	土井 光正	1 豪雨災害等における早急なインフラ整備の強靱化を図れ	12
		2 道路交通の安全に関する諸課題について問う	13
		3 高齢化社会における喫緊の課題に対処せよ	14
第7位	阿部 秀太	1 地区自治会制度のあり方について問う	15
		2 まちづくりへの市民の参画について問う	16

順位	氏名	件名	頁
第8位	熊谷 昌崇	1 レジ袋削減について	17
		2 工業団地の分譲について	18
第9位	大橋 博之	1 今後の観光資源の活用方法を問う	19
		2 笑顔と元気なあいさつを徹底せよ	20
第10位	長谷川 博	1 市営墓地の整備について	21
		2 住民要望による信号機設置について	22
第11位	滝 健一	1 通学路の整備について	23
第12位	浅野 直美	1 本市のデジタル課創設について	24
		2 大雨発生時の汚水排水不良について問う	25
		3 災害公営住宅の払い下げについて	26
第13位	櫻井 政文	1 デジタル行政とマイナンバーの推進を問う	27
		2 東日本大震災追悼式のあり方について	28

【質問者数 13人・質問件数 28件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>全国では、毎日のように新規の新型コロナウイルス感染症の感染者数が増え続け、ほとんど20万人以上となっている。それに伴い、本市でも、新規感染者が増え続けており、いつになったら終息するかわからない状況である。本市も、国や県の対応を踏まえ、対策を講じていると思われる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染者数の推移は、どのようになっているか。また、新型コロナウイルスワクチンの年代別の接種状況は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の感染者の全数把握の見直しを国で検討しているが、市長はどのように考えているか。</p> <p>(3) 感染防止対策は、どのようにしているか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスワクチン未接種者に対する促進策は、どのようにしているか。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスワクチン5回目の接種は、いつ頃から始まり、いつ頃終了するのか。また、そのワクチンは、オミクロン株に対応するのか。</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機となり、生活に支障をきたしている世帯への生活用品と食料品等の配布件数は増え続けていることが予想される。配布までの日数は、どのようになっているか。</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、交通弱者の移動手段である本市のデマンドタクシーは、密閉・密接になっていると思われる。その解消策として、デマンドタクシーを増台して、交通弱者の利便性向上と、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る考えはないのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森晃寿</p>	<p>2. 本市が抱えている政策課題について</p>	<p>市長は、先の参議院選挙で、「桜井充を支援する首長の会」を立ち上げ、代表として、桜井充候補の当選に大きな役割を果たした。</p> <p>また、今回の第2次岸田内閣では、宮城県から、自由民主党宮城県支部連合会会長の西村明宏環境大臣、元宮城県議会議員で平成7年に市長と同期当選であった秋葉賢也復興大臣が誕生した。</p> <p>このことは、本市が抱えている政策課題の解決にプラスになるものと思われる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 「道の駅」整備について事業概要と完成の時期は</p> <p>(2) 「令和の果樹の花里づくり」の事業概要と完成の時期は</p> <p>(3) 野蒜地区内で「令和の果樹の花里づくり」事業以外の移転元地の活用方法と方向性について</p> <p>(4) 「脱炭素先行地域」の選定と今後の取組について</p> <p>(5) 「企業誘致」は、市長のトップセールス以外に手法がないと考えるが、企業誘致の見通しについて</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森晃寿</p>	<p>3. 防火水槽の設置について</p>	<p>東日本大震災後、牛網駅前一丁目及び二丁目は、被災した方々の移転先等により、住宅が急増した。当該地区では、大きな地震が起き、消火栓が使用できない状態で火災が発生した場合の対応を懸念している方が多く見られる。</p> <p>新たな消防水利として、過疎債を活用し、防火水槽を設置することが重要であると考えているが、市長の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 新設予定の道の駅について</p>	<p>本市では、令和6年度開業を目途とする道の駅新設計画がある。場所は、現在の三陸自動車道上り車線南側とのことである。ドライバー等が24時間利用でき、地域の観光産業経済、人的交流、防災拠点の一角と用途、効果は多様性を含み期待するところが大きい。市議会総務常任委員会では先般、所管事務調査において、7月8日に愛知県豊橋市の道の駅「とよはし」を視察した。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 道の駅の敷地面積26,000㎡を予定としているが、これより拡大できないか。</p> <p>(2) 三陸自動車道下り車線からの移動乗り入れの経路対応はいかに。</p> <p>(3) 子供広場の併設はあるのか。</p> <p>(4) 経営母体、経営形態はいかなるものか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 市道及び公園の維持管理、ゴミの不法投棄の監視巡回はいかに</p>	<p>本市議会では、SDGsの一環として2か月に1回奇数月に議員全員による市内ゴミ清掃を行っている。その際に気づくことは、ゴミの不法投棄や路肩の雑草の繁茂、路面の陥没などが多々見受けられる。また、公園での雑草等の不十分な除草、刈り取りなどが目に付いている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市道及び公園の除草、草刈りの頻度はいか程か。</p> <p>(2) 道路パトロールなどはどのように行っているか。</p> <p>(3) ゴミの不法投棄の巡回監視はいかに実施しているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>3. 学校体育・運動部活動を地域移行への対処はいかに</p>	<p>スポーツ庁は、第3期スポーツ基本計画を策定し、令和4年度からスタートさせた。</p> <p>本計画では、現在の学校部活動、特に運動部活動を現行の学校活動から地域移行するとされている。休日の運動部活動については、令和5年度から令和7年度末までの3年間を目途に地域移行することを基本とするとある。</p> <p>これに基づく本市の現状と対応について、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 地域移行した場合、指導者、施設の確保はいかに。</p> <p>(2) 人件費、保険料、大会参加費、旅費、運賃等の財源の確保はいかに。</p> <p>(3) 現行では土・日曜日に各大会が実施されている。今後の大会の在り方への対処はいかに。</p> <p>(4) 実施主体となるスポーツ団体等との大会日程等各種調整はいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 市内スポーツ振興のための環境整備・人材育成について</p>	<p>本市におけるスポーツ振興は、スポーツ健康都市宣言に基づいて積極的に行われている。今後、更なる理念追求のためには、本市のスポーツ環境の整備と人材育成を推進し続ける必要がある。</p> <p>そこで、これからのスポーツ振興の手法について、以下の点を伺う。</p> <p>(1) ウルトランマン基金から本市へ寄贈された通称ウルトラマンバスの運用は、基金の理念に沿った形での運用が望ましいと考える。小中学生や市内のスポーツ団体等の対外試合や規模の大きな大会への参加等に柔軟に利用できるよう本市体育協会へ譲渡又は貸与での運用を任せてはどうか。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊について、文化、芸術、コミュニティ等で本市に貢献していると伺う。現在の登録者数及び活動分野はいかに。</p> <p>(3) スポーツ分野の人材登用を積極的に行うために、地域おこし協力隊の制度を活用してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 子どもたちの体力・学力向上施策について問う</p>	<p>スポーツ健康都市を宣言をしている我が市におけるスポーツ推進施策及び低迷している学力の向上施策について、次の点について問う。</p> <p>(1) 巨額の予算を投じて市内小中学校のプール整備を進めているが、夏休み期間中における開放日及び活用状況について問う。</p> <p>(2) 中学生は中体連の大会があるが、小学生は大会が無い現状に鑑み、市内大会を開催すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果、本市は相変わらず全国及び県平均より低い状況である。今後の学力向上施策について問う。</p> <p>(4) 準不登校が増えてきていると認識しているが、対応施策について問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 公共料金の値上げに関する考え方について問う</p>	<p>水道料金の値上げなどが発表されているが、それらの対応について、次の点について問う。</p> <p>(1) 水道料金2割の値上げが発表され、コロナ禍で経済活動が低迷するなか、市民生活に圧迫が及ぶと考えるが見解を問う。</p> <p>(2) 水道料金の値上げに併せ、下水道料金の値上げの考えはあるか。</p> <p>(3) 今後、電気料金の値上げが予想されるなか、女川原子力発電所2号機が約1年半後に再稼働されると聞く。再稼働に関する見解を問う。</p> <p>(4) 女川原子力発電所の30km圏内に我が市の半分以上が含まれているにも関わらず、石巻市や女川町に比べ地域支援がなされていない状況について見解を問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>千葉修一</p>	<p>1. 道の駅構想の進捗状況について</p>	<p>令和6年度道の駅開業に向けた事業の進捗状況等、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今年度の事業の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 道の駅整備構想進捗プロジェクトチームに国土交通省の職員がオブザーバーとして参加していると聞かれますが、国土交通省との協議の進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 民間の旅行情報誌が実施した全国道の駅グランプリ2022で「道の駅上品の郷」が全国第2位に選ばれました。本市の道の駅のコンセプトをどのように考えているか伺う。</p> <p>(4) 市議会産業建設常任委員会の所管事務調査で視察した愛知県長久手市では、農水産物に関する人すべてが使えるシンボルマークを作成していた。本市でも、シンボルマークを作成するべきと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 市議会産業建設常任委員会の所管事務調査で視察した愛知県豊橋市では、道の駅を地域防災活動拠点に位置付け、情報提供施設、防災備蓄倉庫、太陽光発電、雨水利用等の設備を備えていた。本市でも、地域防災活動拠点とする考えはあるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>2. 住宅地及び市街化区域の拡大を問う</p>	<p>人口減少対策の対応として、子育て世代が安心して住める環境を作るために、早期に住宅地及び市街化区域の拡大が必要と考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の第2次総合計画後期基本計画では、矢本東・西地区で住宅地、赤井地区及び大曲地区で市街化区域をそれぞれ拡大することとしている。進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 宮城県石巻西高等学校東側の赤井柳の目中工区及び南工区は、石巻広域都市計画で開発可能な地域と位置付けられている。南工区は、「石巻あゆみ野駅」に隣接している利点を活かし、北工区と同様に市が主体となり、「土地区画整理事業」の実施をすべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井光正</p>	<p>1. 豪雨災害等における早急なインフラ整備の強靱化を図れ</p>	<p>7月15日の大雨は、市内各地域に大きな被害をもたらした。最近の大雨の特徴である記録的短時間大雨情報も発表され、特に宮戸地区では最大1時間雨量72mmの降雨も記録されていた。</p> <p>今回の大雨で道路の冠水や土砂崩壊等による通行止めを余儀なくされ、日常生活に大きな支障をきたしている。また、田畑の冠水により農作物の被害も多い。</p> <p>これらのことを踏まえ、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 国道45号上下堤で今回も道路冠水で通行止めを余儀なくされた。嵩上げ工事の早急な実施を国土交通省に求めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 上下堤長沢地区では、市道浅井・上下堤線の冠水により国道側に出ることができず、未整備の市道を迂回せざるを得なかった。しかし、未整備の市道は幅員が狭く、路肩決壊や法面崩壊等で危険であり、特に緊急車両は通行できない状態であった。浅井方向に向けての市道整備を緊急に行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 大雨の被害で米作や畑作の大豆やジャガイモに打撃を受け、収穫量8割減と新聞報道された。市内全域の調査結果を踏まえ、市としての救済措置等の対策をどのように考えているのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 道路交通の安全に関する諸課題について伺う</p>	<p>道路交通の安全に関する諸課題である以下の点について伺う。</p> <p>(1) 都市計画道路矢本門脇線は、昨年3月に供用開始され、石巻方向の延伸に当たる都市計画道路門脇流留線も今年3月の供用開始により、全長11.8kmの新しい道路として従来交通の流れを変え、利便性を図っている。</p> <p>しかし、朝夕の通勤や物流のトラック等でかなりの交通量となり、地域住民から交通の安全に対する不安が増大している。</p> <p>大曲小学校東側の市道寺沼線との交差点に本年度予算で信号機が設置されると伺うが一向に設置されない状況にある。また、矢本蜂谷浦地区と大曲西田地区の横断歩道設置要望についてどのような状況か伺う。</p> <p>(2) 国道45号矢本歩道橋撤去について、今年度予定していると伺うが、現在どのような進捗であるか。また、撤去後の歩行者の安全確保及び南北避難路としての市道新沼・上河戸線の道路計画の進捗はいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井光正</p>	<p>3. 高齢化社会における喫緊の課題に対処せよ</p>	<p>高齢化社会における喫緊の課題である以下の点について伺う。</p> <p>(1) 加齢による聴力の低下は、生活の質の低下につながり認知症の発症要因の一つであるとも言われ、難聴者の比率は高まっている。現在、身体障害者福祉法に定められた難聴レベルの該当者や18歳未満の難聴児に対しては、補聴器購入費補助事業があるが、重度難聴レベル以下の高齢者には補助制度が無い。障がい認定を受けられないレベルであっても、耳鼻咽喉科を受診し、補聴器使用が必要と認められるときには金銭的理由で購入をためらうことのないように助成制度を設けるべきであると考えているがいかがか。</p> <p>(2) 投票所で高齢者が緊張の余り誰に投票するつもりだったのか忘れてしまうケースがよくあると聞く。個人があらかじめ投票しようとして決めてきた候補者の正確な名前を記載したメモ等を投票所に持ち込み投票することは、公職選挙法に特段の制限はないとの国の見解がある。その実施の可否については、各選挙管理委員会の裁量と伺うが、本市選挙管理委員会における所見を伺う。</p> <p style="text-align: center;">【答弁を求める者 市長、選挙管理委員長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>1. 地区自治会制度のあり方について問う</p>	<p>本市は地区自治会制度開始から数年が経過し、振り返りと今後の展望が必要と思慮される。 そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 地区自治会と地域自治組織の関係や位置付けの曖昧性についての課題をどう捉えているか。</p> <p>(2) 振り返りと住民自治の今後のあるべき姿について、市民も含めた検討機関の設置を提案するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>2. まちづくりへの市民の参画について問う</p>	<p>東松島市まちづくり基本条例では、「市は、市政運営に対する市民参画を保障するため、市民生活に大きな影響を及ぼす計画の策定、条例の制定改廃等を実施しようとするときは、市民に情報を提供し、意見を求めるよう努めなければならない。」と定めている。</p> <p>しかしながら、本市では、まちづくりへの参画の手段としてのパブリックコメント等の機会や情報の公表頻度が少ないように見受けられる。</p> <p>例えば、本市の定員適正化計画は、市政運営ひいては住民サービスに大きな影響を及ぼす計画と考えられる。</p> <p>まちづくりへの市民の参画を促すよう、積極的に市民から意見を求め、その結果を公表するよう、制度の充実と更なる活用を求める。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. レジ袋削減について</p>	<p>千葉市では、イオン株式会社との包括連携協定に基づき、プラスチックごみの削減に向けて、令和2年に指定可燃ごみ袋をレジ袋として使用する実証実験を行った。その結果、実験当初は、ごみ袋をレジ袋に使用することに対し、抵抗がある旨の意見もあったが、その後はそういった声もなく、好意的な意見も多く寄せられているため、本格実施を行っている。買い物袋を持ち歩く市民も多いが、持ち歩かない市民も多い。本市は、環境未来都市の認定を受け、SDGs 未来都市にも選定されていることから、先進的な事例は取り組むべきと思う。市の指定可燃ごみ袋をレジ袋とし、ごみとして捨てられるレジ袋の総量を抑え、プラスチックごみの削減につながればよいと思うがいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>2. 工業団地の分譲について</p>	<p>先日、市民から、工業団地に進出したいのだが、希望の面積との乖離があり、何とかならないかとの相談を受けた。商工観光課に問い合わせしたところ、なかなか難しいとの回答であった。そこで、進出したい企業とのマッチングも検討すべきと思うが、対応はいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 今後の観光資源の活用手法を問う</p>	<p>本市の今後の観光資源の活用手法について、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 令和の果樹の花里づくりの長期的な展望について</p> <p>(2) 野蒜海岸の海水浴場の運営について</p> <p>(3) 宮戸の嵯峨溪遊覧の方向性について</p> <p>(4) 宮城オルレ奥松島コースの活用について</p> <p>(5) 本市の農業分野を観光資源として活用してみてもどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 笑顔と元気なあいさつを徹底せよ</p>	<p>市役所は、究極のサービス業であると言われている。そして、市役所は、市内最大の企業であり、住民サービスの向上を担う営業マンである。</p> <p>しかしながら、東日本大震災以降、笑顔と元気なあいさつが少し足りないように感じる。震災後の復旧・復興事業もある程度落ちついてきた。これからの住民サービスの向上を目指し、職員のスキルアップだけでなく、人間力のレベルアップも取り組んでみてはどうか。</p> <p>そこで、以下の点について、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 接客五大用語の徹底について</p> <p>(2) 笑顔が習慣になる取組について</p> <p>(3) 民間のトレーニング手法を活用してはどうか。</p> <p>(4) 笑顔とあいさつリーダーを設置してはどうか。</p> <p>(5) 年に1度笑顔と元気なあいさつ大会を企画してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 市営墓地の整備について</p>	<p>令和元年12月定例会の一般質問で、この件を取り上げた。その際、平成27年度に本市で実施した「公営墓地基礎調査」の結果を示し、さらには、今日の少子高齢化、核家族化など家族関係と生活様式の変化が見られ、従来からのお墓に対する考え方に大きな変化が生じている状況も示し、市民ニーズに合った整備を進めるべきでないかと質した。</p> <p>市長は、「来年度にアンケート調査を実施する」、「市民ニーズを把握し、そのうえで判断する」等と答弁した。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市営墓地に対する市が実施した令和2年度のアンケート調査結果はどうだったのか。</p> <p>(2) 平成27年度の調査から7年あまり経過したが、お墓に対する考え方の変化を現時点でどのように捉えているか。</p> <p>(3) 令和2年に行った私どもの独自アンケートでも600通余の回答中、70件余りの市営墓地の要望が寄せられた。市民ニーズを分析し、従来型の墓地に併せて合葬墓の形態も取り入れ、さらに公園機能を加え、従来の墓地とは趣を変えた現代的な市営墓地の整備を図るべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>長谷川博</p>	<p>2. 住民要望による信号機設置について</p>	<p>市民要望として2件の信号機設置の要望が寄せられている。 そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 県道河南鳴瀬線大塩地区清泰寺前の横断歩道 小松台地区から大塩小学校への通学路になっている。児童の登下校に際し安全を確保するうえで、横断歩道用信号機の設置を求めている。登校時間帯に現地を調査し、また、複数の関係者から話を伺ったところ、10数年来の地域課題であるが一向に見通しが立たない状況としている。 一方で、小松台地区は東日本震災後、定住世帯が増え、子どもの数は増加している状況にあるとしている。一刻も早く横断歩道用信号機を設置するよう取り組むべきである。</p> <p>(2) 都市計画道路矢本門脇線と市道寺沼線の交差点 都市計画道路矢本門脇線は、石巻市側の都市計画道路門脇流留線が全面開通したことにより、交通量が著しく増加している。同交差点の都市計画道路を横断する車両はもとより、市道から都市計画道路に合流することも、時間帯によっては困難な状況となっている。市民の交通安全を確保するうえで、信号機の設置は必然と考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>滝 健 一</p>	<p>1. 通学路の整備について</p>	<p>6月半ば「交通安全のため歩道の幅を拡げております」と書かれた看板を立て、国道45号沿いの牛網付近の工事が着手された。</p> <p>そこで、鳴瀬桜華小学校と鳴瀬未来中学校の児童生徒の交通安全と通学路の利便性向上に関する以下の点について伺う。</p> <p>(1) 県道鳴瀬南郷線入口から小野町に通じる歩道の幅がとて狭く感じられるようになる。幅を拡げる必要があると思われるが。</p> <p>(2) 松島方面に向かう国道45号の歩道についても改良する必要があるがどうか。</p> <p>(3) 国道45号と県道鹿島台鳴瀬線との交差点付近の交通安全上の改良工事をする必要性について。</p> <p>(4) 同交差点から鳴瀬未来中学校までの交通安全確保について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 本市のデジタル課創設について</p>	<p>政府は、2021年9月1日にデジタル庁を創設し、この国の人々の幸福を何よりも優先し、国や地方公共団体、民間事業者などの関係者と連携して社会全体のデジタル化を推進するとしている。また、行政のデジタル化においては、全国規模のクラウド移行に向け、今後5年間で自治体のシステムを統一、標準化を進め、業務の効率化と住民サービスの向上を進めることをデジタル改革の一つに位置付けている。</p> <p>本市においても、個々人の多種多様な環境やニーズを踏まえ、利用者目線できめ細かく対応し、誰一人取り残さず、デジタル化の恩恵を享受できるよう、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 宮城県では、デジタルみやぎ推進課を設置している。業務プロセス改革による業務量削減は、財政面でも有利である。持続可能な市政運営の実現のため、本市にデジタル課を創設すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 国では、5年間でデジタルシステムを統一している。本市においても、デジタル化業務をけん引する専門職員の配置が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(3) 行政サービスのデジタル化は、デジタル技術を地域課題の解決に効果的に活用することで市民サービスの向上に寄与するものと期待される。単なる業務のICT化ではなく、市民目線のデジタル改革であることへの市長の決意を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 大雨発生時の汚水排水不良について問う</p>	<p>7月15日から16日にかけて、本市では記録的短時間大雨情報が発表され、この大雨により、市内の多数箇所が冠水、土砂崩れ、倒木及び農作物への壊滅的な被害等、多くの爪痕を残した。</p> <p>今後も、重大な災害につながる危険性を伴う大雨から市民の生命と生活を守るための対策として、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今回の大雨では、小松地区の一部、特に市営沢田前住宅で風呂やトイレが使用しづらい状況が続き、生活に支障をきたす状況であった。このような状況を解決するための本市の対策について伺う。</p> <p>(2) 大雨による汚水排水不良のため、トイレが使用不可能になった際、近隣の公共施設のトイレの利用等、緊急に対応する備えを検討してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 災害公営住宅の払い下げについて</p>	<p>本市では、災害公営住宅入居者の生活の安定と定住促進を推進するため、今年度からの家賃一律3割減免や公営住宅の払い下げを前向きに進め、被災した市民に寄り添う姿勢を示し続けている。</p> <p>7月27日に西銘恒三郎復興大臣が東日本大震災の被災地視察として本市を訪れた際、市長は災害公営住宅の払い下げについて、条件の緩和や様々な支援等について復興大臣に要望したと聞くが、その後の動向について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. デジタル行政とマイナンバーの推進を問う</p>	<p>国は、令和2年にデジタル庁を発足させ、地方行政についても行政手続きのデジタル化を目指してきた。そして、国民のマイナンバーの普及を進めているが、全体的に遅れがあるとの見方である。その主な原因は、①既存の行政サービスの組織的見直しが進んでいないこと、②デジタル化を進めるにあたっての人材不足、③国民のマイナンバー制度への浸透が鈍く、遅れがあること等々の問題があると言われている。</p> <p>これらを踏まえ、次の点について伺う。</p> <p>(1) デジタル行政とマイナンバーの推進についての問題点は、およそ①、②、③と様々な要素があると思うが、市長の所見は。</p> <p>(2) 全国町村会では、全国の町村職員を対象とした「デジタル創発塾」を開催し、次代のデジタル人材の育成に取り組んでいると仄聞するが、本市のデジタル人材育成の取組はいかがか。</p> <p>(3) マイナンバーカードの普及率は、平成27年10月の国の通達から約7年が経過し、本年6月末日のデータでは全国平均で約45%となっている。現在の本市全体と市職員の普及率はどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. 東日本大震災追悼式のあり方について</p>	<p>宮城県の沿岸市町では、今年3月の東日本大震災追悼式を開催しない市町が多くなっている。一方、本市のほか、仙台市と石巻市が開催した。追悼行事の対応が分かれた訳だが、追悼式のあり方を考える時期にきていると思料する。</p> <p>「震災を風化させない」、「遺族の意向を最大限配慮する」、「市民が参加しやすい」等のキーワードを踏まえながら、追悼式の内容を模索、検討すべきと考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 来年以降も追悼式を継続すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) これまでの追悼式に加え、東松島市東日本震災復興祈念公園内の慰霊碑で自由献花方式による追悼も行うべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>